

企業の人材確保難の解決策に！ インターンシップをご活用ください

府中市では、人材確保を目的として、就職活動を行う学生などをインターンシップを通じて受け入れたい市内企業をサポートしています。

インターンシップ支援制度

受入費用や研修実施費用など、インターンシップの実施に伴う経費の一部を助成します。

対象 次の全てに該当する企業

- ▷市内に事業所を有すること
- ▷延滞金を含む市税などの滞納がないこと
- ▷この補助金の交付を受ける経費について、国、地方公共団体または公共的団体等から補助金などを受けていないこと



対象経費や申請期限など、詳しくは市のホームページで確認してください。



府中市で実際にインターンシップに取り組む企業の代表者にインタビューを実施しました。インターンシップのイメージが湧かない、インターンシップに取り組むべきか悩んでいる企業の皆さんに向けて、そのお話の一部を紹介します。

自社の魅力を伝え、 インターンシップから 採用へ

Interview

株式会社タテイシ広美社
専務取締役 立石 理恵さん



—どのようなインターンシップを されていますか？

3種のインターンシップに取り組んでいます。中学生が対象のCSW（キャリアスタートウィーク）、近隣および関東の大学生などを対象としたもの、社会人経験のあるU・Iターン者を対象とした短期間のインターンシップを行っています。

—インターンシップに参加される関東在住の人が多いとお聞きしたのですが？

大学生などを対象としたものについては毎年5～7人程度が参加しています。そのうちの何人かは関東の学生です。社会人経験のあるU・Iターン者については、年に5、6人が関東などから参加をされています。

インターンシップに参加した人のうち、神奈川や埼玉在住の人などはインターンシップから就職につながっており、活躍をしてくれています。

—採用につながる秘訣などありますか？

大学生と社会人経験者で考え方が違います。

大学生については5～10日間のインターンシップで、課題を与え、最後にプレゼンテーションを社内・社外で行うことなどをしています。その過程で社員と一緒に考えることで、参加者も企業への理解が深まり、社員も参加者の人となりが分かるので、入社してからのミスマッチが起こりづらいと感じます。

当社のインターンシップに参加する社会人経験のあるU・Iターン者は、会社の仕事も府中市のことも知らない人が多いです。そこで、会社の仕事を知ってもらうことと、府中市を知ってもらうことで暮らすイメージをしてもらうことを目的としています。そのため、インターンシップは短期間で行いますが、その中で会社のSWOT分析をします。また、前泊してもらい、社員を交えてゆっくり食事をしながら交流する機会も設けています。

こうした取組により求職者側も、弊社の社員側も一緒に働くイメージが湧き、採用率が高まっていると思います。

※SWOT分析…自社の強み、弱み、機会、脅威の4要素から、外部、内部環境を分析する方法。

問い合わせ先 商工労働課（☎44-9153）